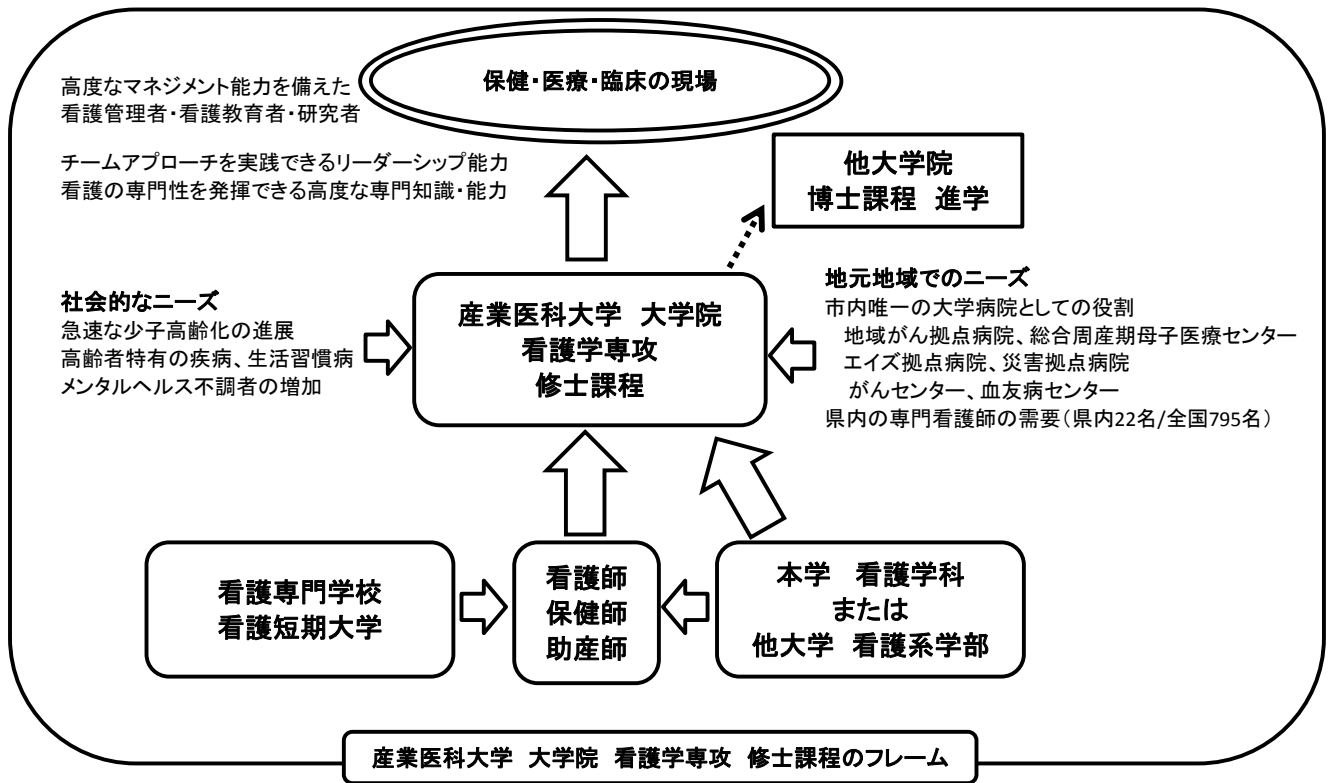


設置の趣旨等を記載した書類

資料 目次

	頁
資料 1 設置構造図	25
資料 2 大学院教育に関するニーズ調査	26
資料 3 教育課程の構造	34
資料 4 カリキュラム構造図	35
資料 5 履修モデル	36
資料 6 既設産業保健学部と大学院看護学専攻との関連	53
資料 7 論文作成指導の指導内容と指導のポイント	54
資料 8 修士論文作成に関する指導過程	55
資料 9 自習室、講義室の平面図	56
資料10 看護学専攻時間割例（第14条による教育方法の例）	59
資料11 看護学専攻時間割例（一般学生の教育方法の例）	61
資料12 平成23～24年度看護学コロキウムの実施概要	63
資料13 看護学コロキウムの単年度ごとの計画	64

【資料1:「設置構造図」】



【資料2:「大学院教育に関するニーズ調査」】

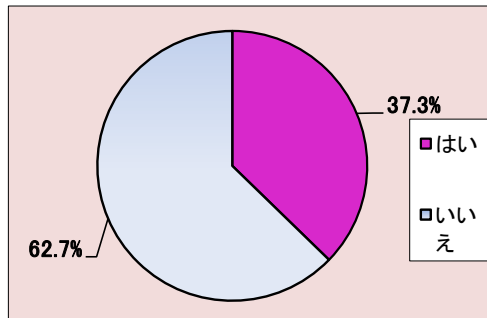
結果①

対象:産業医科大学病院に勤務する看護職員

1. あなたは産業医科大学の卒業生ですか？

回答者数:652名

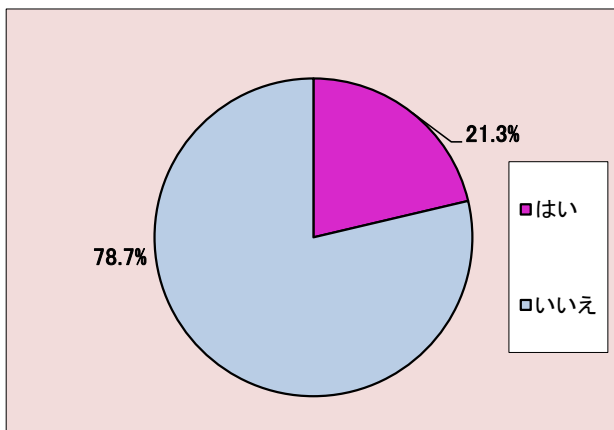
はい	いいえ
243	409



2. 産業医科大学に大学院が設置されたら、進学を希望されますか？

修士課程

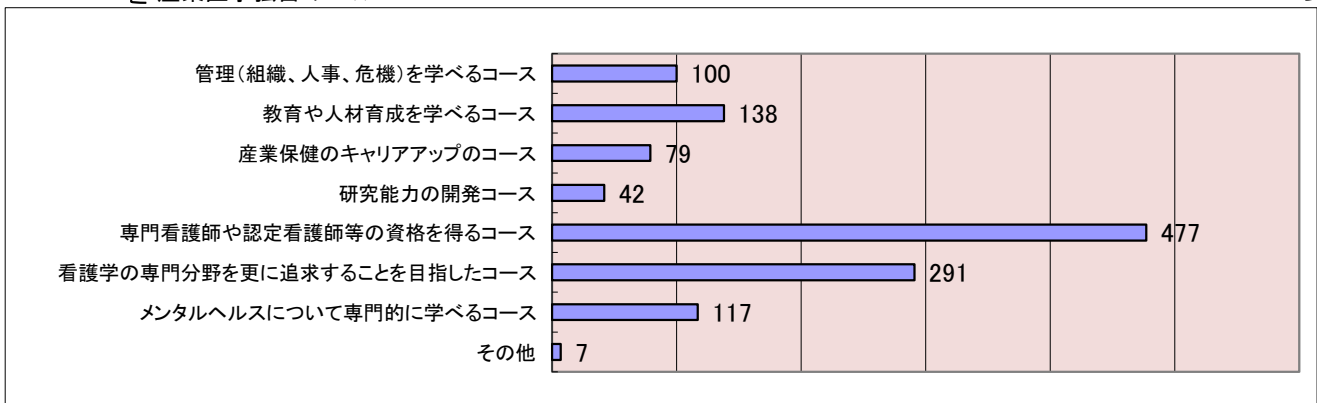
はい	いいえ
136	502



3. 産業医科大学に大学院が設置されるとしたら、どのような大学院を希望されますか？

- 管理(組織、人事、危機)を学べるコース ※複数回答可
 教育や人材育成を学べるコース
 産業保健のキャリアアップのコース
 研究能力の開発コース
専門看護師や認定看護師等の資格を得るコース
看護学の専門分野を更に追求することを目指したコース
 メンタルヘルスについて専門的に学べるコース
 その他
- ・人間科学
 - ・助産学
 - ・産業医学独自のコース
 - ・国際保健
 - ・国際看護
 - ・心理学
 - ・公衆衛生

回答数	割合
100	15.3%
138	21.2%
79	12.1%
42	6.4%
477	73.2%
291	44.6%
117	17.9%
7	1.1%

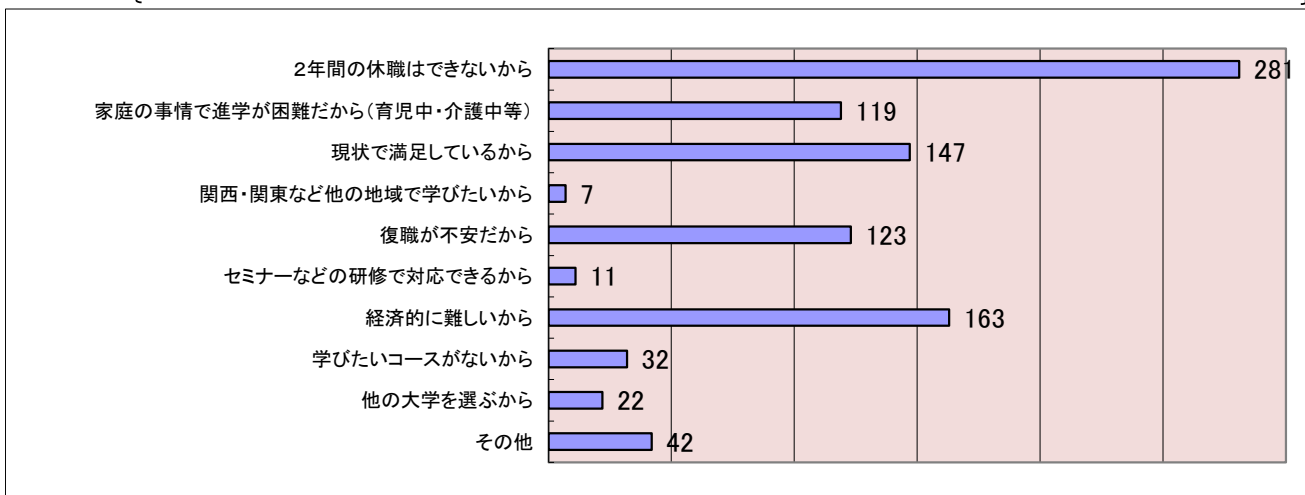


4. 「いいえ」の方におたずねします。「いいえ」の理由で該当するものはどれですか ※複数回答可

- 2年間の休職はできないから
- 家庭の事情で進学が困難だから(育児中・介護中等)
- 現状で満足しているから
- 関西・関東など他の地域で学びたいから
- 復職が不安だから
- セミナーなどの研修で対応できるから
- 経済的に難しいから
- 学びたいコースがないから
- 他の大学を選ぶから
- その他

回答数	割合
281	43.1%
119	18.3%
147	22.5%
7	1.1%
123	18.9%
11	1.7%
163	25.0%
32	4.9%
22	3.4%
42	6.4%

- ・進学を現在考えていない。 ・年齢的に
- ・大卒ではないので ・院を出た人が現場で十分に役割を果たせてないから
- ・出身大学の院に行きたい ・放送大学などの通信学習 ・能力的に無理
- ・実績が不明のため、得意とするものが分かれば進学するかも
- ・臨床を長期間離れるのが心配 ・現状で精一杯 ・まだ実践的な技術を身に付けたい
- ・看護大以外で学士を取っており入学条件に適應するののか
- ・家庭と学業の両立は、難しい ・進学後学費相当の収入アップを望めるか難しい
- ・専門分野の資格等を取っても病棟異動で役に立たなくなる、ずっと同じ病棟なら学んでもよいかも



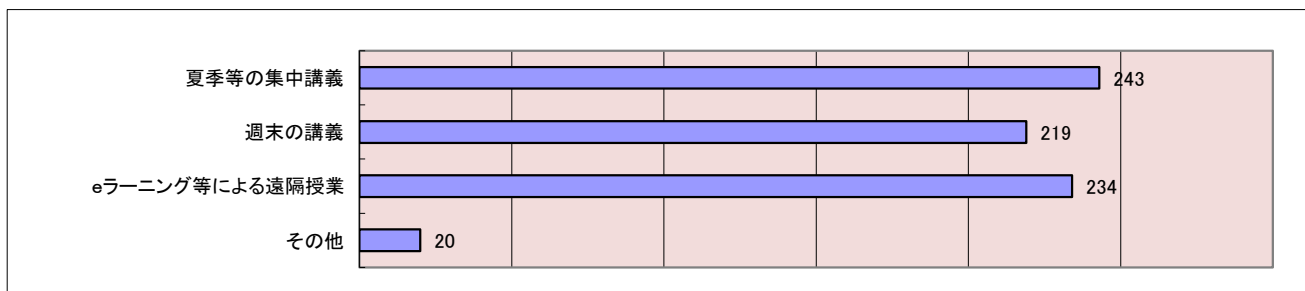
5. 全員の方におたずねします。もし進学するとしたら、どのような授業であれば進学できますか

1) 開講時期および方法について

- 夏季等の集中講義
- 週末の講義
- eラーニング等による遠隔授業
- その他

回答数	割合
243	37.3%
219	33.6%
234	35.9%
20	3.1%

- ・勤務にあわせて受講できる講座 ・通信 ・補習も可能であれば ・平日
- ・休職しないで、授業に出ることが出来る方法で 好きな曜日や時間を選んで受けれる ・休みの日
- ・日勤扱いにしてもらえれば ・自動車学校のような選択授業 ・休みを頂くのは、難しいため、平日
- ・年間通じてまんべんなく ・今の業務内容では無理(休日も病院のことをやっている)

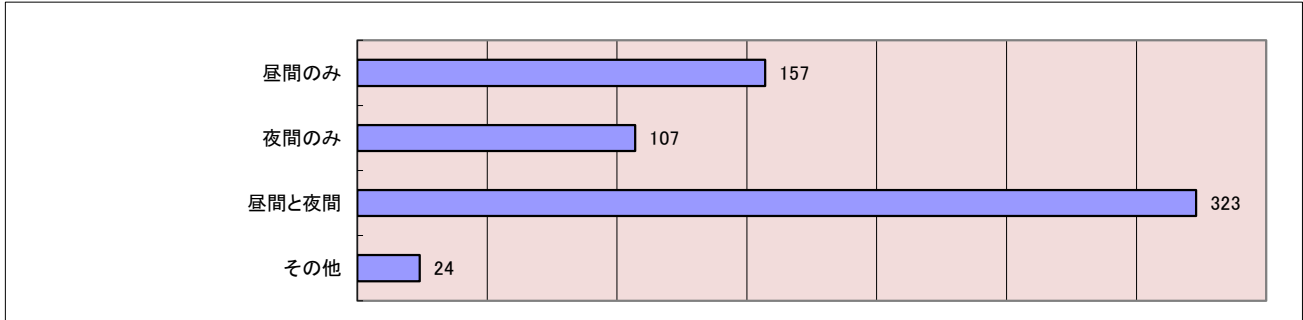


2) 時間について

- 昼間のみ
- 夜間のみ
- 昼間と夜間
- その他

回答数	割合
157	24.1%
107	16.4%
323	49.5%
24	3.7%

- ・自分の都合に合うときに
- ・昼夜を問わず、カリキュラムが取れる
- ・いつでも受けれる
- ・ネットによる時間を問わない形態
- ・自己でカリキュラムを作成
- ・個々の都合で選べる

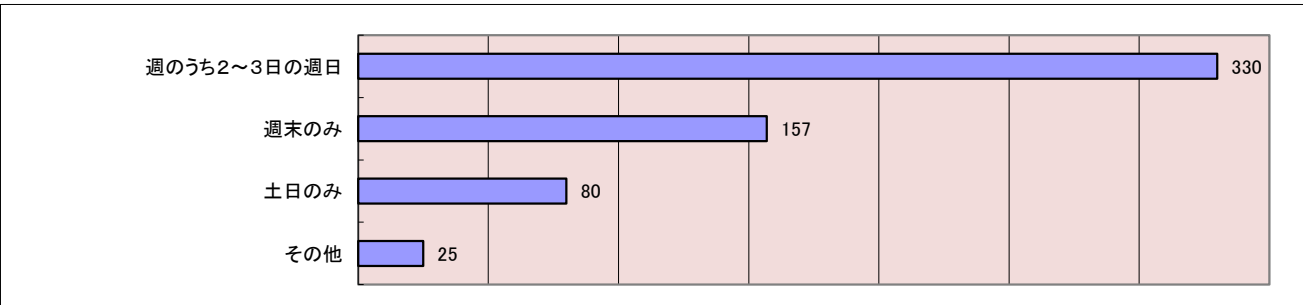


3) 曜日について

- 週のうち2~3日の週日
- 週末のみ
- 土日のみ
- その他

回答数	割合
330	50.6%
157	24.1%
80	12.3%
25	3.8%

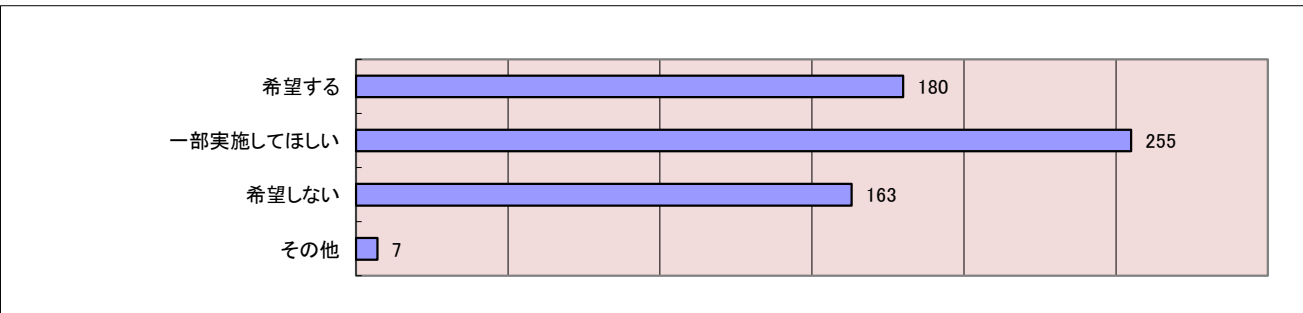
- ・勤務にあわせて受講出来る講座
- ・平日
- ・期間限定
- ・週1.2回
- ・自己でカリキュラム作成
- ・希望制
- ・管理者は土日が受講しやすい
- ・選択できる幅があると良い
- ・休みの日
- ・平日の18時以降
- ・毎日
- ・シフトの空いてるときに



4) eラーニング等の遠隔授業について

- 希望する
- 一部実施してほしい
- 希望しない
- その他

回答数	割合
180	27.6%
255	39.1%
163	25.0%
7	1.1%

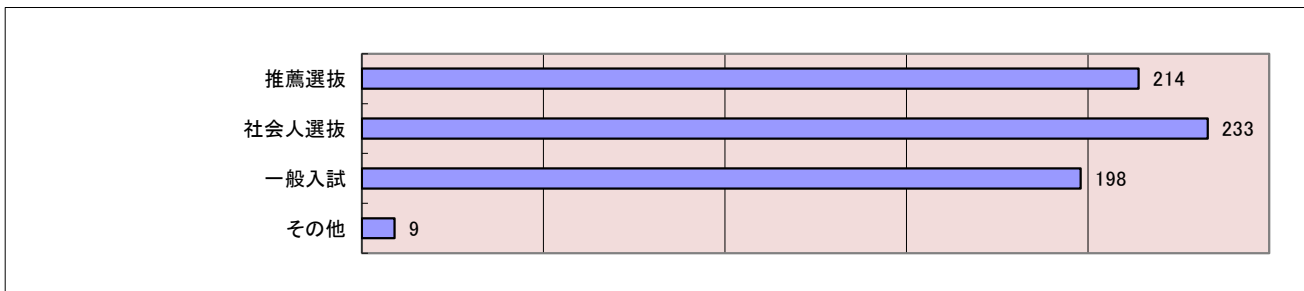


5) 入学試験について

- 推薦選抜
- 社会人選抜
- 一般入試
- その他

[・希望者全員 ・当大学卒で当病院勤務を優先してほしい]

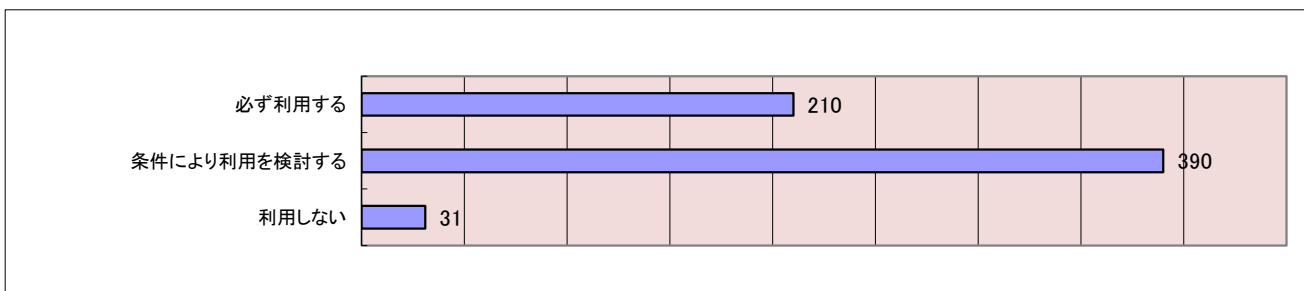
回答数	割合
214	32.8%
233	35.7%
198	30.4%
9	1.4%



6) 授業料免除や奨学金制度について

- 必ず利用する
- 条件により利用を検討する
- 利用しない

回答数	割合
210	32.2%
390	59.8%
31	4.8%



6. 産業医科大学大学院に関する意見、要望

- ・産業医大卒業生や、産業医大勤務者を優先入学できるようにしてほしい。
- ・病院で働きながら院に通える環境を作って欲しい。
- ・現場を最低でも2年は経験してからが良いと思う。
- ・復職などの安心要因が約束されていない状態では当大学を選ぶ基準にならない。
- ・放送大学院など習得した単位も活かされるシステム
- ・大学院に行きたいが、経済的問題、仕事、復職等考えるとなかなか踏み込めない。

結果②

対象：産業医科大学看護学科在学生

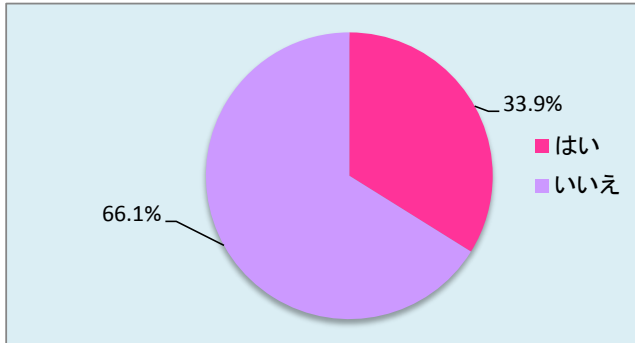
1. あなたは産業医科大学の何年生ですか？

回答者数：249名

1年生	2年生	3年生	4年生
54	68	69	58

2. 産業医科大学に大学院が設置されたら、進学を希望されますか？

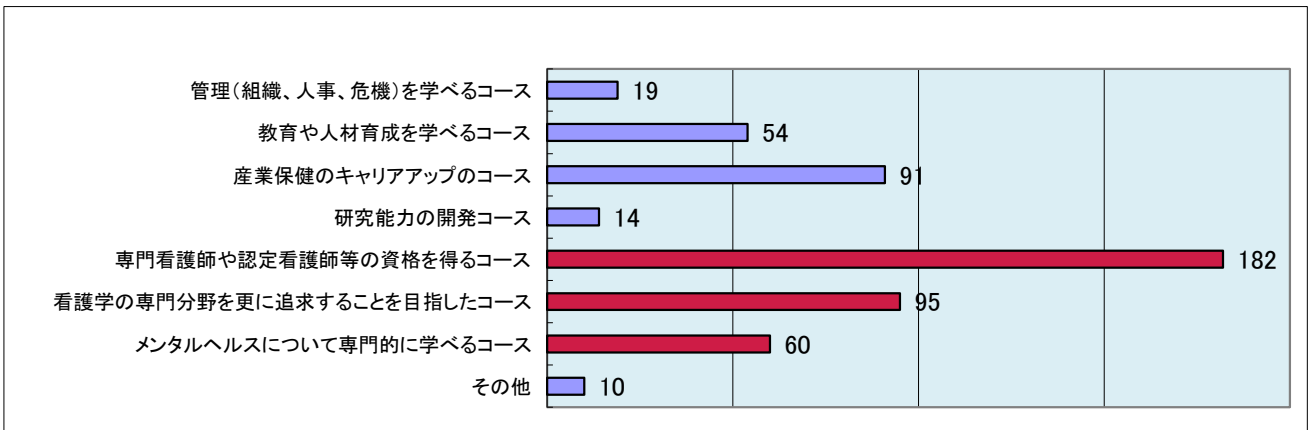
修士課程	はい	いいえ
	83	162



3. 産業医科大学に大学院が設置されるとしたら、どのような大学院を希望されますか？

- ※複数回答可
- 管理(組織、人事、危機)を学べるコース
 - 教育や人材育成を学べるコース
 - 産業保健のキャリアアップのコース
 - 研究能力の開発コース
 - 専門看護師や認定看護師等の資格を得るコース
 - 看護学の専門分野を更に追求することを目指したコース
 - メンタルヘルスについて専門的に学べるコース
 - その他
 - ・保健師の資格が取れるコース
 - ・公衆衛生分野
 - ・助産師コース
 - ・診療看護師の養成

回答数	割合
19	7.6%
54	21.7%
91	36.5%
14	5.6%
182	73.1%
95	38.2%
60	24.1%
10	4.0%

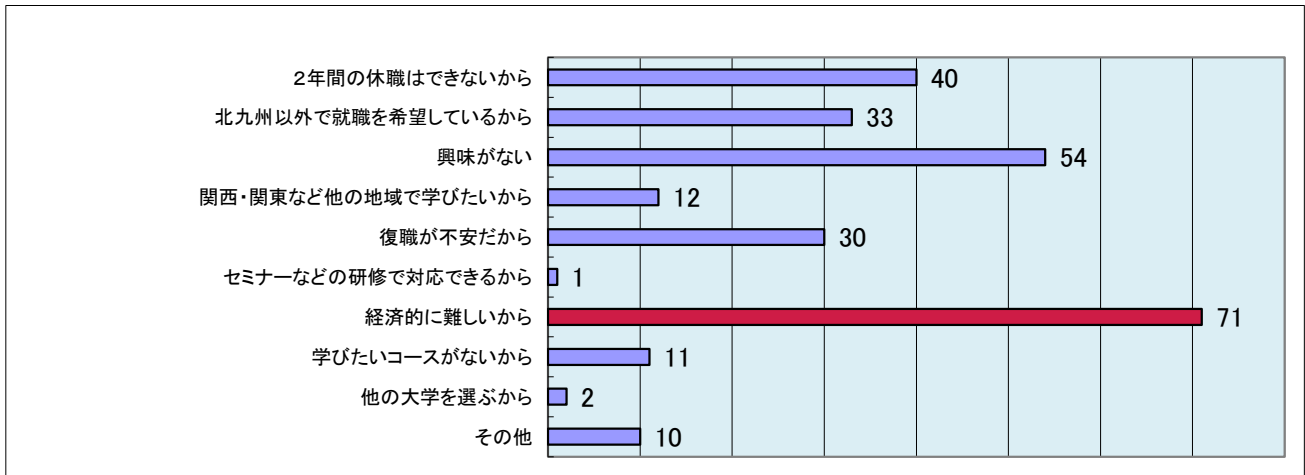


4. 「いいえ」の方におたずねします。「いいえ」の理由で該当するものはどれですか ※複数回答可

- 2年間の休職はできないから
- 北九州以外で就職を希望しているから
- 興味がない
- 関西・関東など他の地域で学びたいから
- 復職が不安だから
- セミナーなどの研修で対応できるから
- 経済的に難しいから
- 学びたいコースがないから
- 他の大学を選ぶから
- その他
 - 学べる内容によっては進学を希望する
 - 他に進みたい進路があったら
 - やりたいことがあるから

- ・まだよくわからない
- ・まだよく考えていない

回答数	割合
40	16.1%
33	13.3%
54	21.7%
12	4.8%
30	12.0%
1	0.4%
71	28.5%
11	4.4%
2	0.8%
10	4.0%



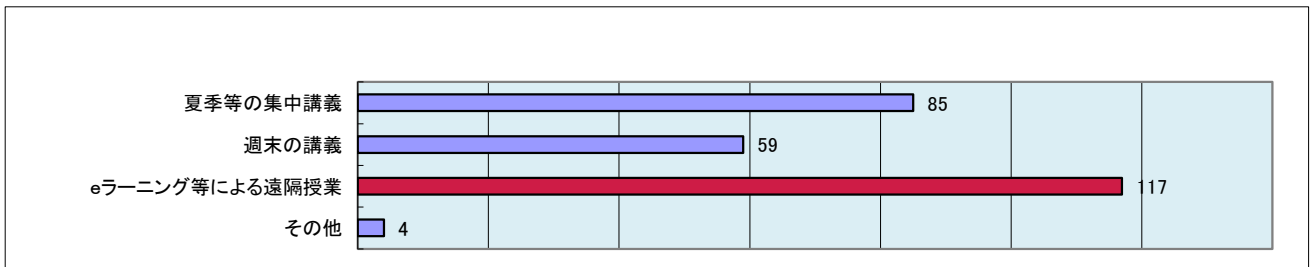
5. 全員の方におたずねします。もし進学するとしたら、どのような授業であれば進学できますか

1) 開講時期および方法について

- 夏季等の集中講義
- 週末の講義
- eラーニング等による遠隔授業
- その他

[不定期 ・夜間 ・空きコマでの講義 ・平日]

回答数	割合
85	34.1%
59	23.7%
117	47.0%
4	1.6%

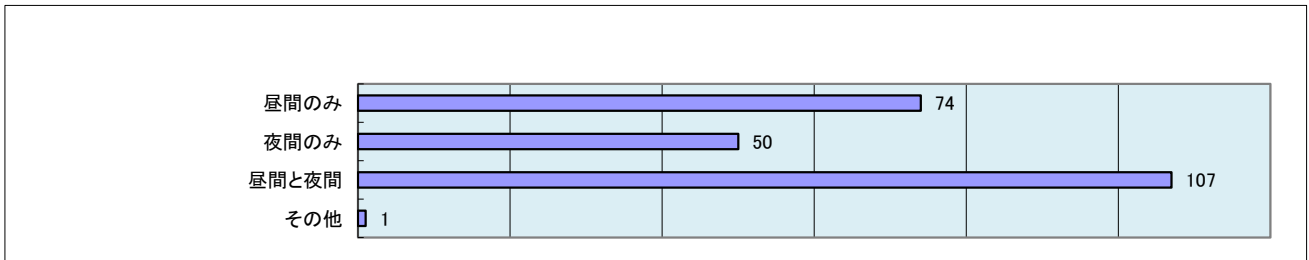


2) 時間について

- 昼間のみ
- 夜間のみ
- 昼間と夜間
- その他

[・自分の都合に合うときに]

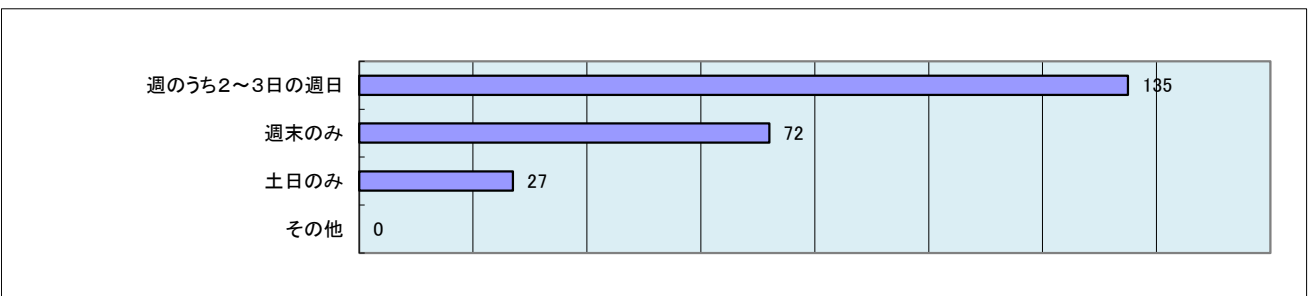
回答数	割合
74	29.7%
50	20.1%
107	43.0%
1	0.4%



3) 曜日について

- 週のうち2~3日の週日
- 週末のみ
- 土日のみ
- その他

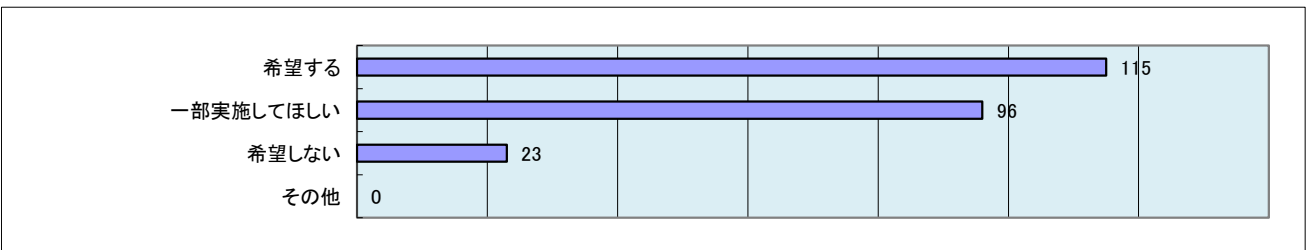
回答数	割合
135	54.2%
72	28.9%
27	10.8%
0	0%



4) eラーニング等の遠隔授業について

- 希望する
- 一部実施してほしい
- 希望しない
- その他

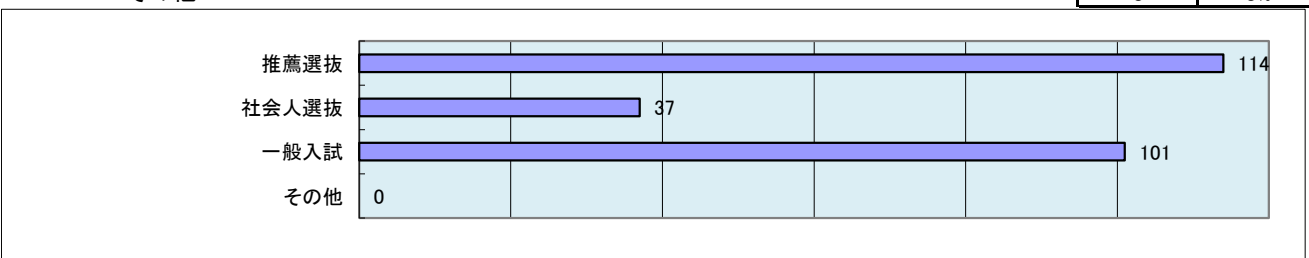
回答数	割合
115	46.2%
96	38.6%
23	9.2%
0	0%



5) 入学試験について

- 推薦選抜
- 社会人選抜
- 一般入試
- その他

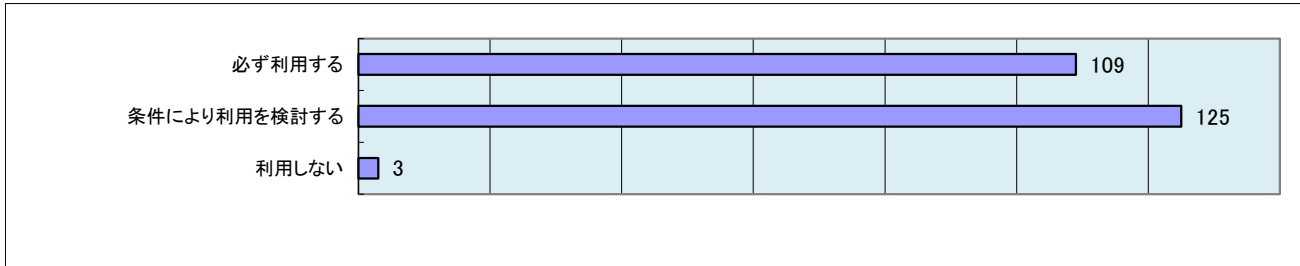
回答数	割合
114	45.8%
37	14.9%
101	40.6%
0	0%



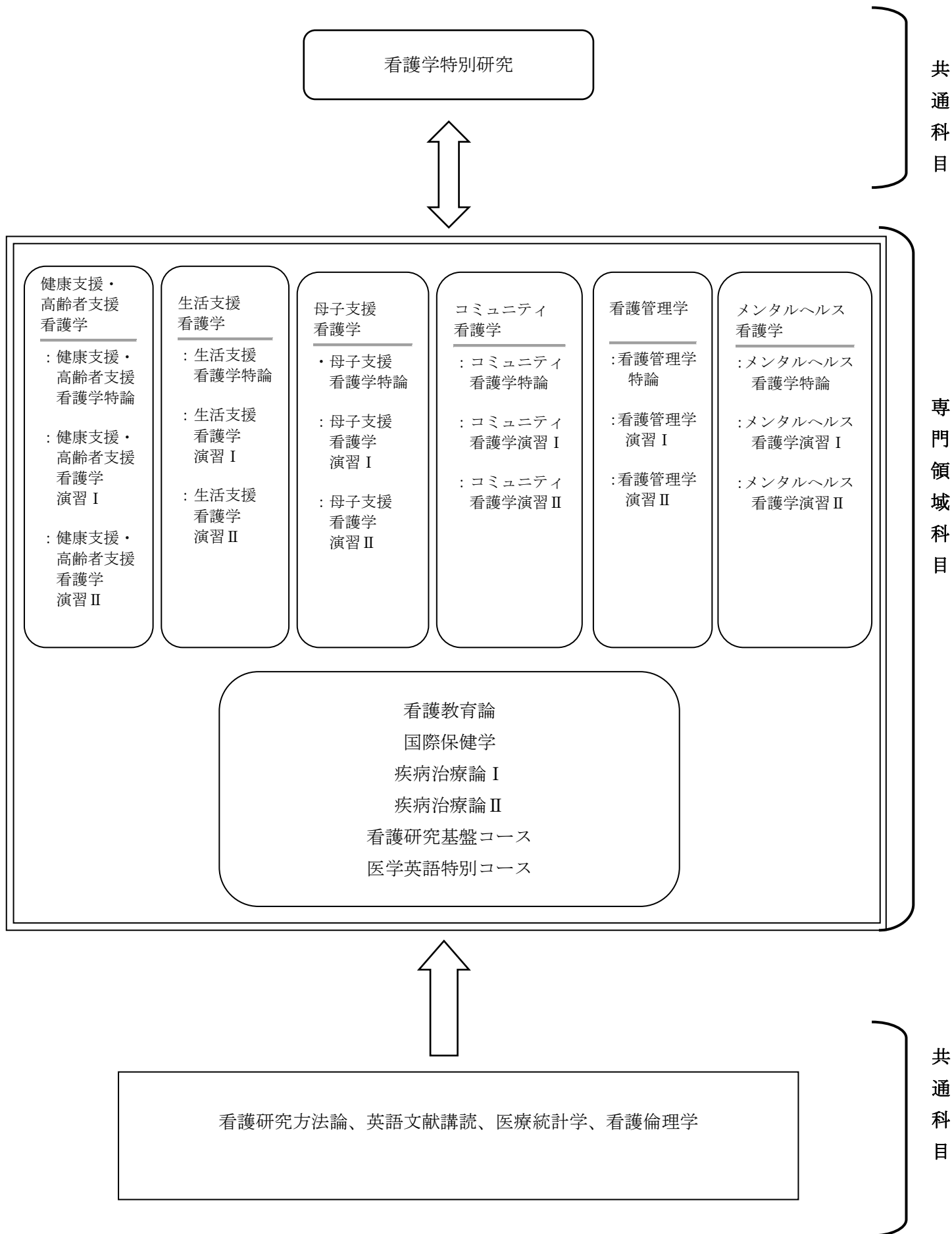
6) 授業料免除や奨学金制度について

- 必ず利用する
- 条件により利用を検討する
- 利用しない

回答数	割合
109	43.8%
125	50.2%
3	1.2%



【資料3：「教育課程の構造」】



【資料4:「カリキュラム構造図」】

実践力・管理能力・教育力・研究力を持つ高度な実務家

実務的問題解決に準じた修士研究

演習科目

- ・健康支援・高齢者支援看護学演習
- ・生活支援看護学演習
- ・母子支援看護学演習
- ・コミュニティ看護学演習
- ・看護管理学演習
- ・メンタルヘルス看護学演習

大学院看護学専攻

専門科目

- ・健康支援・高齢者看護学特論
- ・生活支援看護学特論
- ・母子支援看護学特論
- ・コミュニティ看護学特論
- ・看護管理学特論
- ・メンタルヘルス看護学特論

共通科目

- ・看護研究方法論
- ・英語文献講読
- ・医学統計学
- ・看護倫理学

問題解決のためのツール

学術的な裏付け
知識 技術

科学的分析力
探究 開発

看護現場における多様な課題・ニーズ

演習による
応用力の養成

専門性の追求

【資料5-1：履修モデル（健康支援・高齢者支援看護学）】

修了後の予定進路：高度な看護実践者

：高齢者の入院患者の多い病棟で実践的リーダーとして勤務予定

1. 対象学生 高齢者の入院患者の多い病棟で勤務している卒業後8年目の看護師
2. 修士論文テーマ 食事制限のある認知症高齢者が家族とともに生きがいのある生活を送るための支援に関する検討
3. 期待される人物像 高齢者看護における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。他職種と連携・協働して対象者のニーズに応じた看護実践ができる中堅実務家

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	健康支援・高齢者支援看護学特論	2	1年次前学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	疾病治療論Ⅰ	2	1年次前学期
	生活支援看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	健康支援・高齢者支援看護学特論（必修）						健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	疾病治療論Ⅰ（選択）											
	生活支援看護学特論（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-2：履修モデル（健康支援・高齢者支援看護学）】

修了後の予定進路：看護管理者

：急性期病棟で師長として勤務

1. 対象学生 急性期病棟で勤務している卒業後15年目の主任
2. 修士論文テーマ 在院日数短縮化に伴う急性期病棟における患者の快適生活の支援に関する検討
3. 期待される人物像 急性期病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。他職種と連携・協働して対象者のニーズに応じた看護実践ができる主任経験2年目

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	健康支援・高齢者支援看護学特論	2	1年次前学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	健康支援・高齢者支援看護学特論（必修）							健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	疾病治療論Ⅰ（選択）							看護管理学演習Ⅰ（選択）					
	看護管理学特論（選択）												
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-3：履修モデル（健康支援・高齢者支援看護学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で成人看護学の助教として勤務予定

1. 対象学生 慢性期病棟で勤務している卒業後9年目の看護師
2. 修士論文テーマ 慢性疾患患者を受け持つ実習学生が行う患者教育への指導の検討
3. 期待される人物像 高齢者看護における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。教育に関心が高く、今後看護教育に携わることを希望する実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	健康支援・高齢者支援看護学特論	2	1年次前学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	健康支援・高齢者支援看護学特論（必修）						健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）						/					
	看護研究基盤コース（選択）											
	コミュニティ看護学特論（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	健康支援・高齢者支援看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-4：履修モデル（生活支援看護学）】

修了後の予定進路：高度な看護実践者

：成人慢性期病棟で実践的リーダーとして勤務予定

1. 対象学生 慢性期病棟で勤務している卒業後10年目の看護師
2. 修士論文テーマ 慢性疾患を持つ患者の生活の再構築支援に関する検討
3. 期待される人物像 慢性期病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。中堅実務家として対象者のニーズに応じた看護実践ができ、新人看護師の指導も担当できる実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	生活支援看護学特論	2	1年次前学期
	生活支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	生活支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	疾病治療論Ⅰ	2	1年次前学期
	疾病治療論Ⅱ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	生活支援看護学特論（必修）							生活支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	疾病治療論Ⅰ（選択）							疾病治療論Ⅱ（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	生活支援看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-5：履修モデル（生活支援看護学）】

修了後の予定進路：看護管理者

：成人慢性期病棟で師長として勤務予定

1. 対象学生 慢性期病棟で勤務している卒業後15年目の主任
2. 修士論文テーマ 慢性期病棟における看護師の医療安全に関する意識と行動の検討
3. 期待される人物像 慢性期病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。指導者経験、主任としての経験も豊富であり、今後看護管理者として期待されている主任3年目
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	生活支援看護学特論	2	1年次前学期
	生活支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	生活支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	生活支援看護学特論（必修）							生活支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護管理学特論（選択）							看護管理学演習Ⅰ（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	生活支援看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-6：履修モデル（生活支援看護学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で基礎看護学の助教として勤務予定

1. 対象学生 急性期病棟で勤務している卒業後9年目の看護師
2. 修士論文テーマ 術後早期における患者の体位変換に用いる看護用具開発に関する検討
3. 期待される人物像 急性期病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。対象者のニーズに応じた看護実践ができ、看護実践への創意工夫に努力ができる中堅実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	生活支援看護学特論	2	1年次前学期
	生活支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	生活支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	疾病治療論Ⅱ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	生活支援看護学特論（必修）							生活支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）							疾病治療論Ⅱ（選択）					
	看護研究基盤コース（選択）												
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	生活支援看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-7：履修モデル（母子支援看護学）】

修了後の予定進路：高度な看護実践者

：大学病院産婦人科病棟に実践的リーダーとして勤務予定

1. 対象学生 産婦人科病棟で勤務している卒業後7年目の助産師
2. 修士論文テーマ 出産時の父親参加がその後の育児参加に及ぼす影響に関する検討
3. 期待される人物像 産婦人科病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。現代社会における対象者のニーズに応じた看護実践ができ助産師としての役割を追究する人物
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	母子支援看護学特論	2	1年次前学期
	母子支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	母子支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	疾病治療論Ⅰ	2	1年次前学期
	生活支援看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	母子支援看護学特論（必修）						母子支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	疾病治療論Ⅰ（選択）											
	生活支援看護学特論（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	母子支援看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-8：「履修モデル（母子支援看護学）」】

修了後の予定進路：看護管理者

：産婦人科病棟で師長として勤務予定

1. 対象学生 産婦人科病棟で勤務している卒業後15年目の助産師資格を持つ主任
2. 修士論文テーマ 産婦人科病棟における感染対策に影響する看護師の認識に関連した検討
3. 期待される人物像 産婦人科病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。病棟における指導的立場をとり、感染対策や医療事故予防に関心が高く、看護活動に活用を検討している主任

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	母子支援看護学特論	2	1年次前学期
	母子支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	母子支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	母子支援看護学特論（必修）							母子支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護管理学特論（選択）							看護管理学演習Ⅰ（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	母子支援看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-9：履修モデル（母子支援看護学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で母性看護学の助教として勤務予定

1. 対象学生 小児科病棟で勤務している卒業後10年目の看護師
2. 修士論文テーマ 学童期の糖尿病疾患を持つ患児へのセルフケアプログラムの検討と評価に関する検討
3. 期待される人物像 小児科病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。対象者のニーズに応じた看護実践ができ、看護教育に関心が高い中堅実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	母子支援看護学特論	2	1年次前学期
	母子支援看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	母子支援看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	母子支援看護学特論（必修）						母子支援看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）						/					
	看護研究基盤コース（選択）											
	コミュニティ看護学特論（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	母子支援看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-10：履修モデル（コミュニティ看護学）】

修了後の予定進路：高度な看護実践者

：保健所の実践的リーダーとして勤務予定

1. 対象学生 保健所に勤務している卒業後8年目の保健師
2. 修士論文テーマ 地域における高齢者を対象とした保健・医療・福祉システムの有機的連携に関する検討
3. 期待される人物像 保健所に勤務し、中堅的立場にあり、多くの地域活動を通して、コミュニティにおける様々な職種との連携・協働を実践し、問題意識が高く、システム開発に興味を持つ人物

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期
	コミュニティ看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	コミュニティ看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	健康支援・高齢者支援看護学特論	2	1年次前学期
	国際保健学	1	1年次後学期
	医学英語特別コース	1	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	コミュニティ看護学特論（必修）						コミュニティ看護学演習Ⅰ（必修）					
	健康支援・高齢者支援看護学特論（選択）						国際保健学（選択）					
							医学英語特別コース（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	コミュニティ看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-11：履修モデル（コミュニティ看護学）】

修了後の予定進路：看護管理者

：訪問看護ステーションの管理者として勤務予定

1. 対象学生 訪問看護ステーションで勤務している卒業後17年目の看護師
2. 修士論文テーマ 訪問看護ステーションにおけるコストパフォーマンスから考える管理の検討
3. 期待される人物像 訪問看護ステーションに勤務し、中堅の立場にあり、多くの訪問看護ケースを通して、コミュニティにおける様々な職種との連携・協働を実践し、問題意識が高く、看護管理に興味を持つ実務家

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18 単位

専門領域科目	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期
	コミュニティ看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	コミュニティ看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期

小計 12 単位

総計 30 単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	コミュニティ看護学特論（必修）						コミュニティ看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護管理学特論（選択）						看護管理学演習Ⅰ（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	コミュニティ看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-12：履修モデル（コミュニティ看護学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で在宅看護学の助教として勤務予定

1. 対象学生 訪問看護ステーションで勤務している卒業後11年目の看護師
2. 修士論文テーマ 訪問看護ステーションに勤務する看護師の効果的OJTのあり方に関する検討
3. 期待される人物像 訪問看護ステーションに勤務し、中堅的立場にあり、多くの訪問看護ケースを通して、コミュニティにおける様々な職種との連携・協働を実践し、問題意識が高く、看護教育に関心を持つ人物

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期
	コミュニティ看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	コミュニティ看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	コミュニティ看護学特論（必修）						コミュニティ看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護管理学特論（選択）						/					
	看護教育論（選択）											
	看護研究基盤コース（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	コミュニティ看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-13：履修モデル（看護管理学）】

修了後の予定進路：看護管理者

：入学前の病院で引き続き師長として勤務予定

1. 対象学生 看護管理経験を3年有する看護師長
2. 修士論文テーマ ワークライフバランスを考慮した看護職の勤務体制構築に関する研究
3. 期待される人物像 看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。主任を経験後4年目の看護師長
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	看護管理学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	メンタルヘルス看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	看護管理学特論（必修）						看護管理学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）						/					
	看護研究基盤コース（選択）											
	メンタルヘルス看護学特論（選択）											
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	看護管理学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-14：履修モデル（看護管理学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で看護管理学の助教として勤務予定

1. 対象学生 急性期病棟で勤務する卒業後10年目の看護師
2. 修士論文テーマ クリニカルパスを用いた看護の質向上に関する検討
3. 期待される人物像 急性期病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。教育に関心が高く、今後看護教育に携わることを希望する実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門領域科目	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	看護管理学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	医学英語特別コース	1	1年次後学期
	国際保健学	1	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	看護管理学特論（必修）						看護管理学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）						医学英語特別コース（選択）					
	看護研究基盤コース（選択）						国際保健学（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	看護管理学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-15：履修モデル（メンタルヘルス看護学）】

修了後の予定進路：高度な看護実践者

：精神科病棟の実践的リーダーとして勤務予定

1. 対象学生 精神科病棟で勤務している卒業後7年目の看護師
2. 修士論文テーマ 慢性的な精神疾患を持つ患者と家族の生活の再構築支援に関する検討
3. 期待される人物像 精神科病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。他職種と連携・協働して対象者のニーズに応じた看護実践ができる中堅実務家
4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門科目	メンタルヘルス看護学特論	2	1年次前学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	疾病治療論Ⅰ	2	1年次前学期
	健康支援・高齢者支援看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	メンタルヘルス看護学特論（必修）							メンタルヘルス看護学演習Ⅰ（必修）					
	疾病治療論Ⅰ（選択）												
	健康支援・高齢者支援看護学特論（選択）												
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料5-16：履修モデル（メンタルヘルス看護学）】

修了後の予定進路：看護管理者

：大学病院の看護管理者として勤務予定

1. 対象学生 大学病院医療安全管理部で勤務している卒業後17年目の主任
2. 修士論文テーマ 看護師のメンタルヘルスとヒヤリハット発生因子の関連の検討
3. 期待される人物像 看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。他職種と連携・協働して対象者のニーズに応じた看護実践ができ、医療安全に関連した指導を実践してきた主任3年目の看護師

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門科目	メンタルヘルス看護学特論	2	1年次前学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護管理学特論	2	1年次前学期
	看護管理学演習Ⅰ	2	1年次後学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期						後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	看護研究方法論（必修）						看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）						医療統計学（必修）					
	メンタルヘルス看護学特論（必修）						メンタルヘルス看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護管理学特論（選択）						看護管理学演習Ⅰ（選択）					
2 年次	看護学特別研究（必修）											
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ（必修）											

【資料5-17：履修モデル（メンタルヘルス看護学）】

修了後の予定進路：看護教育者・研究者

：大学で精神看護学の助教として勤務予定

1. 対象学生 精神科病棟で勤務している卒業後9年目の看護師
2. 修士論文テーマ 急性憎悪を繰り返す精神疾患を持つ患者の服薬の自立支援に関する検討
3. 期待される人物像 精神科病棟における看護経験が豊富で、優れた臨床判断を持つ。他職種と連携・協働して対象者のニーズに応じた看護実践ができる中堅実務家

4. 履修科目

区分	科目名	単位数	履修年次
共通科目	看護研究方法論	2	1年次前学期
	英語文献講読	2	1年次前学期
	医療統計学	2	1年次後学期
	看護倫理学	2	1年次後学期
	看護学特別研究	10	2年通年学期

小計 18単位

専門科目	メンタルヘルス看護学特論	2	1年次前学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅰ	2	1年次後学期
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ	4	2年通年学期
	看護教育論	1	1年次前学期
	看護研究基盤コース	1	1年次前学期
	コミュニティ看護学特論	2	1年次前学期

小計 12単位

総計 30単位

5. 学年、学期ごとの履修スケジュール

月	前学期							後学期					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1 年次	看護研究方法論（必修）							看護倫理学（必修）					
	英語文献講読（必修）							医療統計学（必修）					
	メンタルヘルス看護学特論（必修）							メンタルヘルス看護学演習Ⅰ（必修）					
	看護教育論（選択）							/					
	看護研究基盤コース（選択）												
	コミュニティ看護学特論（選択）												
2 年次	看護学特別研究（必修）												
	メンタルヘルス看護学演習Ⅱ（必修）												

【資料6：「既設産業保健学部と大学院看護学専攻との関連」】

学部			大学院			
区分		科目	科目	区分		
看護学 基礎分 野		情報科学系科 目		疾病治療論	共通科目	
		生活・健康支援 系科目				
		病態・治療学系 科目				
看護学 専門分 野	基礎看 護学系	基礎看護学系 科目	生活支援看護学	臨床 看護学	クリニカ ル看護学	
		看護管理学系 科目	看護管理学			システム 看護学
	臨床看 護学系	成人看護学系 科目	健康支援・高齢 者支援看護学	母子支援看護学	臨床 看護学	クリニカ ル看護学
		老年看護学系 科目				
		小児看護学系 科目				
		母性看護学系 科目				
		精神看護学系 科目	メンタルヘルス 看護学	システム 看護学		
	在宅看 護学系	在宅看護学系 科目	コミュニティ 看護学			
公衆衛 生看護 学系	公衆衛生看護 学系科目					
看護学 統合分 野		看護教育学	医療統計学	共通科目	共通科目	
		看護研究系科 目	看護研究方法論			
			看護学特別研究			
		英語文献購読				
		看護教育論				
		看護倫理学				
			国際保健学			

【資料7：「論文作成指導の指導内容と指導のポイント」】

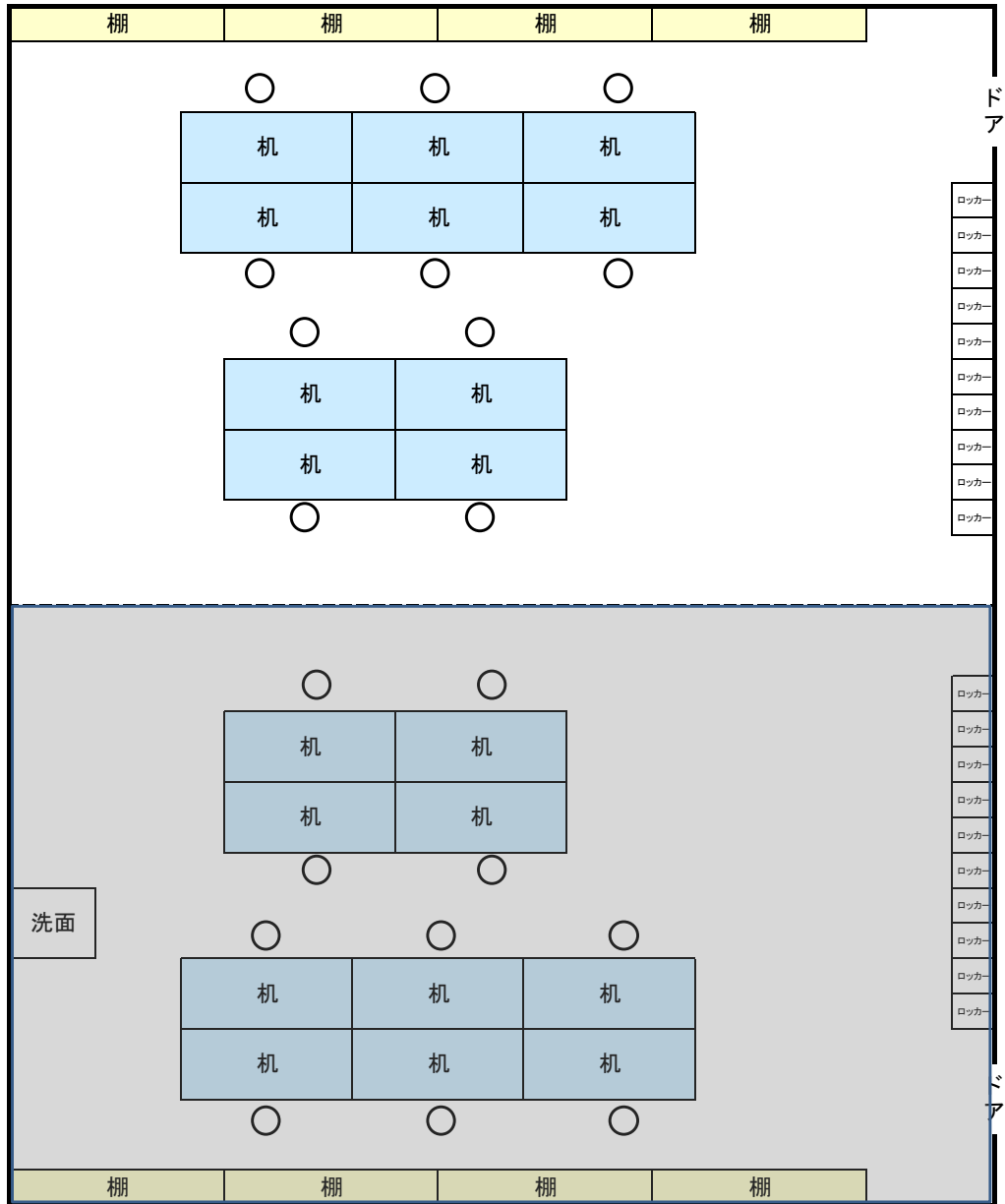
指導内容	指導のポイント
1) 研究テーマや研究目的	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマが適切であるか ・研究目的が明確化であるか
2) 仮説の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・研究結果の予測が妥当であるか
3) 研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・研究目的や研究テーマに適した研究方法(研究対象、研究デザイン、データの収集方法、データの分析方法)がとられているか
4) 倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的配慮が十分になされているか、また、適切な手続きがとられているか
5) 文献収集	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの研究報告や資料が十分に理化し、活用されているか
6) 論文作成	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の形式が適切であるか ・論文の論旨が明確であるか ・適切な考察が加えられているか ・独創的な点があるか、今後に向けての新たな提案が盛り込まれているか
7) プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の一連の内容等が適切に示されているか

【資料8：「修士論文作成に関する指導過程」】

学年	時 期	看護学特別研究 履修者	研究指導教員	看護学専攻委員会
1年	4月上旬	履修ガイダンス		履修ガイダンスを行う
	4月中旬	履修登録 (1年次における履修計画を研究指導教員に相談する)	履修指導を行う	理由登録状況の報告を行う研究指導教員を決定する
	10月上旬	(研究テーマ・論文作成方法を指導教員に相談する)	研究指導を開始する	補助教員の決定
	1月下旬	研究計画書を作成		
2年	4月上旬～中旬	履修登録 (2年次における履修計画を研究指導教員に相談する) 研究計画書提出 倫理審査申請書提出	履修指導を行う	
	4月下旬			研究計画書公開審査
	12月中旬			論文審査委員 (主1名、副2名) を決定する
	1月初旬	修士論文の提出		
	1月下旬	修士論文公開審査会においてプレゼンテーション	論文審査修正に対する指導を行う	修士論文公開審査会の開催
	2月初旬	最終論文提出	論文審査終了 報告書提出	
	2月下旬	論文審査と最終試験		修士学位授与判定 (看護学専攻委員会)

【資料9:「自習室、講義室の平面図」】

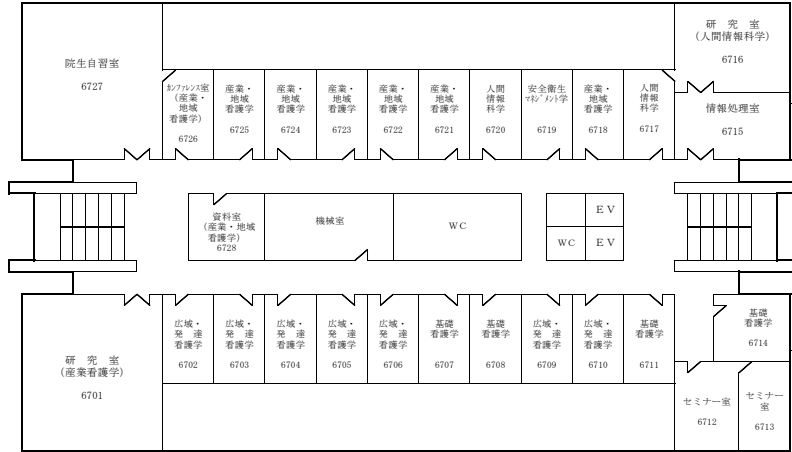
1203 A 室



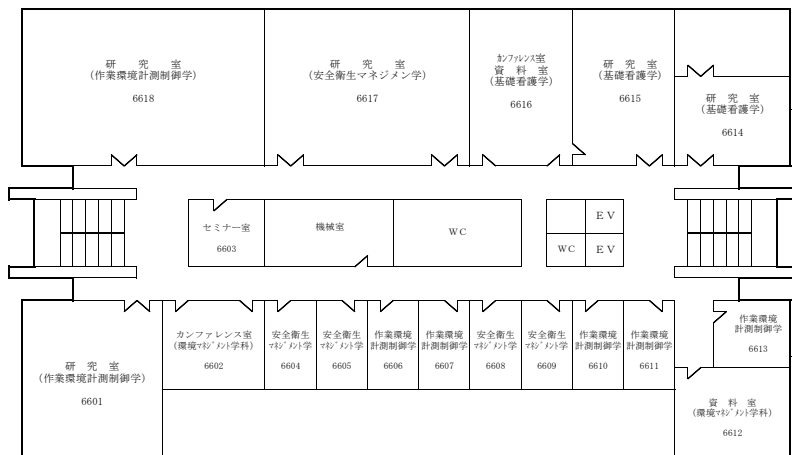
1203 B 室

産業医科大学 6号館 平面図

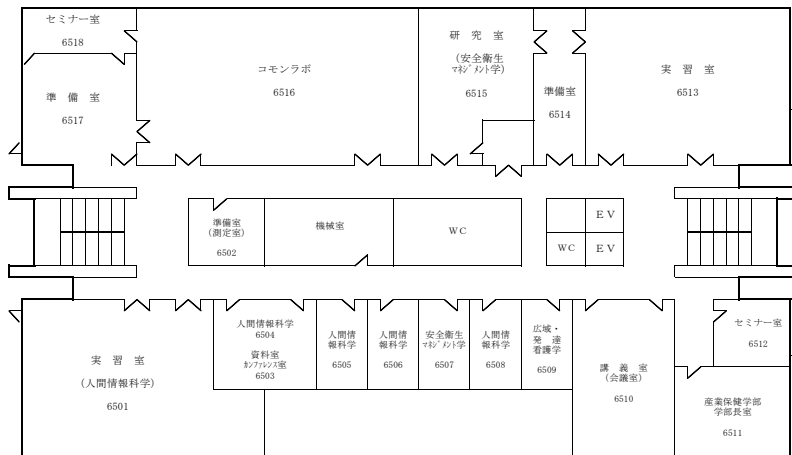
7 階



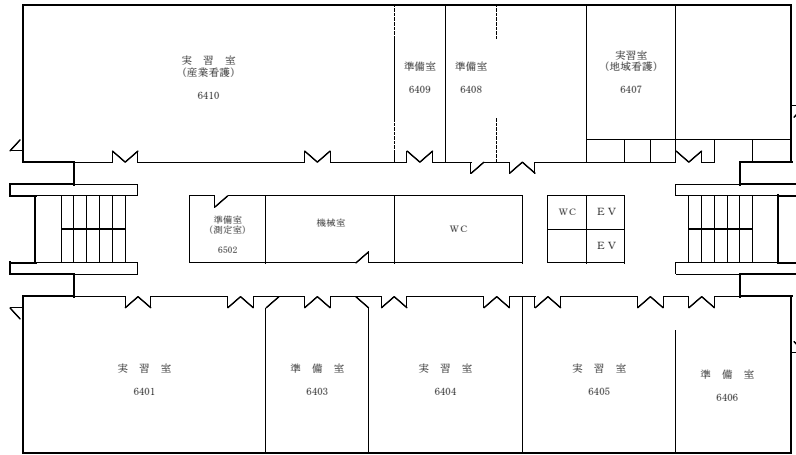
6 階



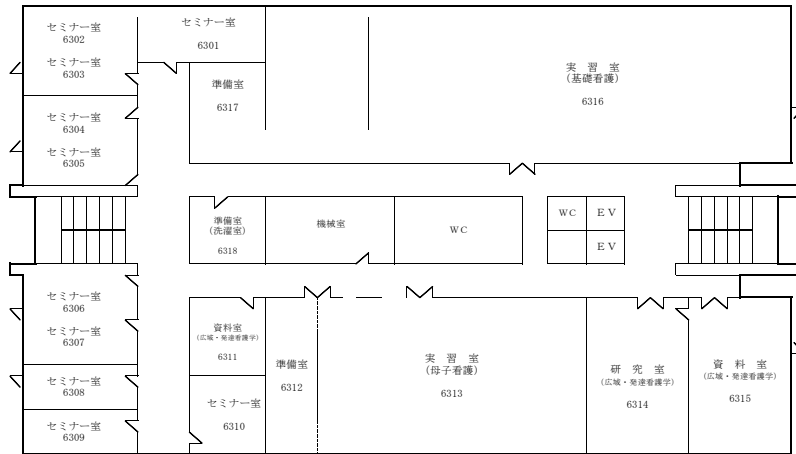
5 階



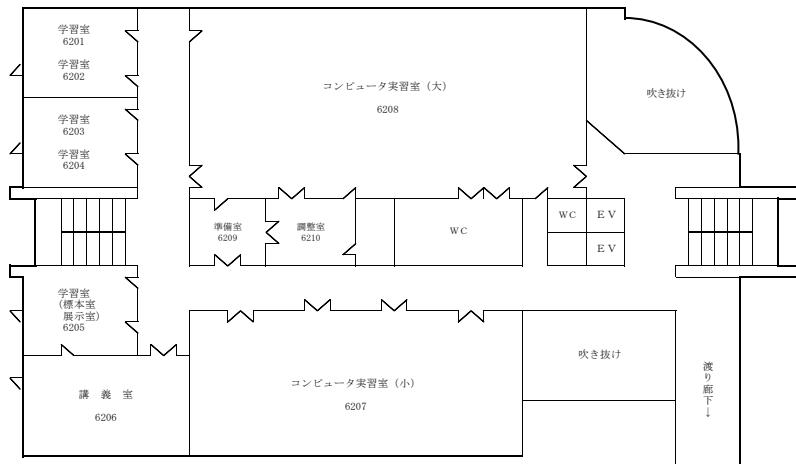
4 階



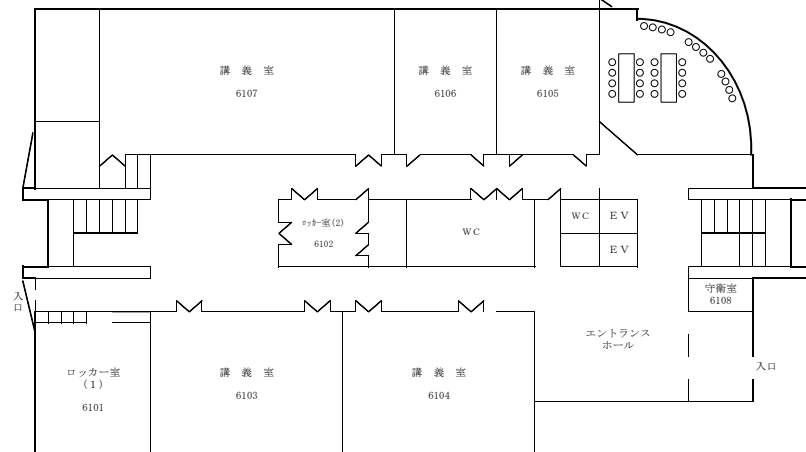
3 階



2 階



1 階



【資料10:「看護学専攻時間割例(第14条による教育方法の例)」】

1年次 前期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10
月						/	
火						奇数週:健康支援・高齢者看護学特論(選) 偶数週:母子支援看護学特論(選)	
水						/	
木						奇数週:コミュニティ看護学特論(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学特論(選)	
金					奇数週看護研究基盤 コース(選)7回 偶数週:医学英語特別 コース(選)7回	奇数週:生活支援看護学特論(選) 偶数週:看護管理学特論(選)	
土	奇数週:看護研究(必) 偶数週:英文文献購読(必)		奇数週:疾病治療論Ⅰ(選) 偶数週:看護教育論(選)7回		/		

後期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~ 10:20	10:30~ 12:00	13:00~ 14:30	14:40~ 16:10	16:20~17:50	18:00~ 19:30	19:40~21:10
月						/	
火						奇数週:健康支援・高齢者看護学特論(選) 偶数週:母子支援看護学特論(選)	
水						/	
木						奇数週:コミュニティ看護学特論(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学特論(選)	
金						奇数週:生活支援看護学特論(選) 偶数週:看護管理学特論(選)	
土	奇数週:医療統計学(必) 偶数週:看護倫理学(必)		奇数週:疾病治療論Ⅱ(選) 偶数週:国際保健学(選)7回		/		

2年次 前期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30	19:40～21:10
月						/	
火						奇数週:健康支援・高齢者看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:母子支援看護学演習Ⅱ(選)	
水						/	
木						奇数週:コミュニティ看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)	
金						奇数週:生活支援看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:看護管理学演習Ⅱ(選)	
土	看護学特別研究(必)		メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)		/		

後期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50～10:20	10:30～12:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30	19:40～21:10
月						/	
火						奇数週:健康支援・高齢者看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:母子支援看護学演習Ⅱ(選)	
水						/	
木						奇数週:コミュニティ看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)	
金						奇数週:生活支援看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:看護管理学演習Ⅱ(選)	
土	看護学特別研究(必)				/		

【資料11:「看護学専攻時間割例(一般学生の教育方法の例)」】

1年次 前期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10
月				/		/	
火				奇数週:健康支援・高齢者看護学特論(選) 偶数週:母子支援看護学特論(選)		/	
水				/		/	
木				奇数週:コミュニティ看護学特論(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学特論(選)		/	
金			奇数週:看護研究基礎 コース(選)7回 偶数週:医学英語特別 コース(選)7回	奇数週:生活支援看護学特論(選) 偶数週:看護管理学特論(選)		/	
土	奇数週:看護研究(必) 偶数週:英文文献購読(必)		奇数週:疾病治療論Ⅰ(選) 偶数週:看護教育論(選)7回		/		/

後期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~ 10:20	10:30~ 12:00	13:00~ 14:30	14:40~ 16:10	16:20~17:50	18:00~ 19:30	19:40~21:10
月				/		/	
火				奇数週:健康支援・高齢者看護学特論(選) 偶数週:母子支援看護学特論(選)		/	
水				/		/	
木				奇数週:コミュニティ看護学特論(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学特論(選)		/	
金				奇数週:生活支援看護学特論(選) 偶数週:看護管理学特論(選)		/	
土	奇数週:医療統計学(必) 偶数週:看護倫理学(必)		奇数週:疾病治療論Ⅱ(選) 偶数週:国際保健学(選)7回		/		/

2年次 前期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10
月				/			
火				奇数週:健康支援・高齢者看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:母子支援看護学演習Ⅱ(選)			
水				/			
木				奇数週:コミュニティ看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)			
金				奇数週:生活支援看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:看護管理学演習Ⅱ(選)			
土	看護学特別研究(必)		メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)		/		

後期

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	8:50~10:20	10:30~12:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10
月				/			
火				奇数週:健康支援・高齢者看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:母子支援看護学演習Ⅱ(選)			
水				/			
木				奇数週:コミュニティ看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:メンタルヘルス看護学演習Ⅱ(選)			
金				奇数週:生活支援看護学演習Ⅱ(選) 偶数週:看護管理学演習Ⅱ(選)			
土	看護学特別研究(必)			/			

【資料12：「平成23～24年度看護学コロキウムの実施概要」】

平成23年度				
	開催日時	講師	対象	テーマ,内容及び課題
第1回	H23.7.27 16:30～ 18:00	看護学コロキウム委員	看護学科教員全員	看護学コロキウムの方向性を探る
第2回	H23.12.2 16:30～ 18:00	正野逸子教授[広域・発達看護学] 石橋カズヨ准教授[成人・老年看護学]	(フェーズⅠ)新人,助教	カリキュラムの基本と構造～作成過程～
第3回	H24.1.13 16:20～ 18:00	石橋カズヨ准教授[成人・老年看護学]	(フェーズⅡ)助教,講師	シラバスの作成と活用～講義・演習・実習～
第4回	H24.2.23 16:20～ 18:00	正野逸子教授[広域・発達看護学]	(フェーズⅠ)新人,助教	実習指導教育と技法～指導案作成から評価まで～
第5回	H24.3.15 13:00～ 14:45	室屋和子准教授[成人・老年看護学]	(フェーズⅡ)助教,講師	授業の方法論～授業・演習の組み立て方～
平成24年度				
	開催日時	講師	対象	テーマ,内容及び課題
第1回	H24.5.25 16:30～ 18:00	川口貞親教授[広域・発達看護学]	看護学科教員全員	現代学生の気質とメンタルヘルス～本学学生の現状と課題～
第2回	H24.8.7 10:30～ 12:00	正野逸子教授[広域・発達看護学]	看護学科教員全員	実習指導教育と技法
第3回	H24.9.11 10:30～ 12:00	永嶋由理子教授[福岡県立大学]	産業保健学部教員	科研費採択のテクニック 教育研究への発展
第4回	H24.12.25 10:30～ 12:00	看護学コロキウム委員	看護学科教員全員	看護技術教育と演習の組み立て方(授業の方法論シリーズ2)
第5回	H25.2.25 15:00～ 17:00	増田健太郎教授[九州大学大学院人間環境学研究院]	産業保健学部教員	大学現場におけるハラスメントとその対応

【資料13：「看護学コロキウムの単年度ごとの計画」】

看護学コロキウム委員会は、看護学科に所属する教員の教育力向上を支援することを使命とし、以下の目的を共有する。

1. 本学カリキュラムの理解と教授法のスキルアップを支援する。
2. 教員個々の教育・研究のスキルアップに対するメンターシップを支援する。
3. 看護並びに教育に関する情報を発信・共有し、教員の資質向上を支援する。

中期目標	23年度活動方針： 本学教員に求められる基本的な教育活動の理解と活用		24年度活動方針： 看護学教育と研究のスキルアップ		25年度活動方針： 教員間連携による教育実践力の向上	
単年度毎の目標	全体・職位別 1.新カリキュラムの構造と各領域の教育方法を理解できる	全体・臨床とのコラボレーション 2.カリキュラムをふまえた授業構築を具体化できる	全体・ピアレビューの方法と仕組み 1. 学生気質を理解し、多様な授業実践の事例を説明できる	全体・臨床とのコラボレーション 2.研究環境を整え、教育研究を発展させることができる	全体・ピアレビューの方法と仕組み 1. 公開授業に主体的に参加し、フィードバックできる	全体・ピアレビューの方法と仕組み 2. 教育研究の成果を報告し、共有できる
単年度毎の実施計画	フェーズⅠ (新人・助教)	カリキュラムの基本と構造 ～作成から評価まで～ (12月第1週)	実習指導教育と技法 指導案作成から評価まで (2月第4週) シーズⅠ	現代学生の気質とメンタルヘルス (5月第4週)	看護技術教育と演習の組み立て方 (参加型学習方式) (12月第5週)	ハラスメントとその対策 (H24年2月第5週)
	フェーズⅡ (助教・講師)	シラバスの作成と活用 講義・演習・実習 (1月第3週)	授業の方法論 授業・演習の組み立て方 (3月第3週)	看護過程教育と領域連携 (参加型学習形式) (延期)	教育へのICT活用法 e-L活用&シミュレーション教育 情報倫理 H25年3月第4)	効果的な授業の技法 プレゼンテーション、レポート指導等 (月)
	フェーズⅢ (講師・准教授・教授)	講義・演習・実習指導のためのメンタリング、メンターシップ (11月：情報の発信と活用)		研究のスキル 科研費採択のテクニック、教育研究への発展 (9月第3週)		研究指導のためのメンタリング、メンターシップ (月)

フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	フェーズⅣ
教育人としての基盤作り 本学のミッション 対象となる学生理解 カリキュラム 演習の技法 実習指導の技法	講義の教育技法 教育へのICT活用 シラバス 看護過程の教育法に関する情報の共有 学生への研究指導	社会における看護教育の動向の理解 教員の研究力向上 教育力向上サイクル 組織マネージメント	FDの展開方法 臨床とのコラボレーション その他 (大学院教育) 教育人としてのキャリアアップ
職位別グループワークで抽出したニーズ (大カテゴリー)			

フェーズ毎の大カテゴリー内訳